

御宿町の財務報告書（概要版）

令和3年度決算 ～財務書類からみる財政状況～（一般会計）

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計額が合わない場合があります。

貸借対照表

令和4年
3月31日現在

貸借対照表とは

基準日時点における資産・負債・純資産の残高及び内訳を示すものです。年度末における資産と負債のバランスを把握することができます。

この表は、資産をどのような財源（負債と純資産）で賄ったかを示しており、負債は将来世代の負担を、純資産は現役世代及び国県の負担を表しています。

資産合計は246億3,673万6千円、負債合計は42億3,820万3千円です。住民一人当たりでは、資産合計は343万7千円、負債合計は59万1千円です。

償却資産が取得からどの程度経過しているかを表す有形固定資産減価償却率は57.1%となっています。

科目	一般会計	
	一般会計	一人当たり
固定資産	23,722,353	3,309
有形固定資産	21,911,256	3,056
事業用資産	11,449,073	1,597
うち土地	6,913,821	964
インフラ資産	10,340,356	1,442
物品	121,827	17
無形固定資産	15,883	2
投資その他の資産	1,795,214	250
流動資産	914,383	128
現金預金	418,046	58
その他	496,337	69
資産合計	24,636,736	3,437
固定負債	3,834,154	535
地方債	3,005,300	419
退職手当引当金	822,770	115
その他	6,085	1
流動負債	404,049	56
1年以内償還予定地方債	348,742	49
賞与等引当金	55,307	8
その他		
負債合計	4,238,203	591
純資産合計	20,398,533	2,845
負債及び純資産合計	24,636,736	3,437
(参考)	一般会計	一人当たり
有形固定資産減価償却累計額	19,952,375	2,783

資金収支計算書

令和3年4月1日～
令和4年3月31日

資金収支計算書とは

業務活動、投資活動、財務活動の区分ごとに、1年間の資金収支の状況を表します。

令和3年度末の資金残高は2億8,330万円となっています。

地方債（貸借対照表の地方債の額）を、経常的に確保できる資金（業務活動収支の黒字額）で返済した場合の年数は4.1年となっています。

科目	一般会計	
	一般会計	一人当たり
業務支出	3,274,093	457
業務費用支出	1,751,856	244
移転費用支出	1,522,237	212
業務収入	4,087,498	570
臨時支出		
臨時収入		
業務活動収支	813,405	113
投資活動支出	661,404	92
投資活動収入	140,909	20
投資活動収支	△ 520,495	△ 73
財務活動支出	332,247	46
財務活動収入	174,083	24
財務活動収支	△ 158,164	△ 22
本年度資金収支額	134,746	19
前年度末資金残高	283,300	40
本年度資金残高	418,046	58

財務書類とは？

財務書類とは、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の4つの表を指します。これらの表は、公共団体の資産や負債の状況、行政サービスにかかった費用や税金等の収入が何に使われたのかわかるようになっていきます。

財務書類を作成する目的は、財政の透明性を高め説明責任を適切に果たす観点から、単式簿記、現金主義会計では把握できない情報（資産や負債、減価償却費など）を見える化するためです。御宿町では、総務省から示された新基準【統一的な基準】に基づく財務書類を平成28年度分から作成しています。

行政コスト計算書

令和3年4月1日～
令和4年3月31日

行政コスト計算書とは

1年間の経常費用と、それが使用料及び手数料などの財源によってどのように賄われたかを表します。人件費や物件費など経常費用から、経常収益を引いた純経常行政コストが、町の提供したサービスに対する直接的な収入では賄いきれなかったコストであり、税や国県からの補助金などにより賄われたこととなります。

経常収益の経常費用に対する割合は、受益者の負担の程度を表すもので、4.2%となっています。

科目	一般会計	
	一般会計	一人当たり
経常費用	3,940,009	550
業務費用	2,417,772	337
人件費	672,812	94
物件費等	1,717,217	240
物件費	855,148	119
維持補修費	196,153	27
減価償却費	665,916	93
その他		
その他の業務費用	27,743	4
移転費用	1,522,237	212
経常収益	166,246	23
純経常行政コスト	3,773,763	526
臨時損失	△ 1,207	
臨時利益		
純行政コスト	3,772,556	526

純資産変動計算書

令和3年4月1日～
令和4年3月31日

純資産変動計算書とは

純資産が1年間でどのように増減したかを表します。R2年度末純資産残高と比べR3年度末純資産残高は1億4,869万6千円増加しています。

科目	一般会計	
	一般会計	一人当たり
前年度末純資産残高	20,249,837	2,825
純行政コスト（△）	△ 3,772,556	△ 526
財源	3,921,252	547
本年度差額	148,696	21
固定資産等の変動		
資産評価差額		
その他		
本年度純資産変動額	148,696	21
本年度末純資産残高	20,398,533	2,845

一人当たりの金額は、令和4年3月末時点での住民基本台帳人口7,169人で算出しています。